

プログラム

予定時間	タイトル	内容
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00-13:10	事業説明	遠隔教育についての動向や、遠隔教育システム導入実証研究事業について、説明します。
13:10-15:25	遠隔授業 事例報告 <small>司会進行</small> 信州大学学術研究院教育学系 教授 東原義訓 ①遠隔交流・遠隔合同授業 ②ALTとつないだ遠隔学習 ③専門家とつないだ遠隔学習 ④免許外教科担任を支援する遠隔授業 ⑤教科・科目を充実するための遠隔授業 ⑥個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育 ⑦複合的な遠隔教育の事例 ⑧SINETを利用した遠隔授業	遠隔教育システム導入実証研究事業の実証地域から、今年度実践した遠隔教育について、事例報告を行います。 ・実践事例を遠隔教育の類型に沿い、整理して御紹介します。 ・事例報告とともに、接続形態や必要となるシステム・ICT機器についても御紹介します。 
15:25-15:45	[休憩]ジャンベ演奏 遠隔中継 (鹿児島県三島村立竹島小中学校の皆さん)	実証地域である鹿児島県三島村から遠隔中継。2019年の第3回野口英世アフリカ賞授賞式にて、天皇皇后両陛下やアフリカ各国首脳陣に披露された「ジャンベ」を演奏いただきます。
15:45-16:40	パネルディスカッション <small>コーディネーター 放送大学 教授 中川一史 パネリスト 実証地域 信州大学学術研究院教育学系 教授 東原義訓</small>	パネルディスカッションを通じて、これまでの実践を踏まえた、遠隔教育に必要な環境、効果的な遠隔授業を行うためのポイント、遠隔授業の効果などについて、明らかにします。
16:40-16:45	まとめ	
16:45	閉会	

*本フォーラムはペーパーレスで行います。配付資料が必要な方は、当日提示するURLから各自ダウンロードしていただきます。なお、会場にはフリーWi-Fi環境がございませんので、あらかじめ御了承下さい。

実証地域

北海道教育委員会／北海道教育大学／宮城県仙台市教育委員会／新潟県佐渡市教育委員会／信州大学／静岡市教育委員会／愛知県瀬戸市教育委員会／京都府教育委員会／大阪府守口市教育委員会／岡山県赤磐市教育委員会／熊本県高森町教育委員会／宮崎県教育委員会／鹿児島県三島村教育委員会／沖縄県宮古島市教育委員会

事業推進委員(敬称略)

坂本 隆典／長崎県教育庁 義務教育課 義務教育班 係長
中川 一史／放送大学 教授
中橋 雄／武蔵大学社会学部 メディア社会学科 教授
東原 義訓／信州大学 学術研究院 教育学系 教授
藤村 裕一／鳴門教育大学大学院 遠隔教育プログラム推進室長 准教授
山田 知章／国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官
山本 朋弘／鹿児島大学学術研究院 法文教育学域 教育学系 准教授



「遠隔教育システム活用ガイドブック(第1版)」をWebで公開中。令和元年度の成果を踏まえ、第2版も鋭意作成中です。

[URL]
https://www.mext.go.jp/a_m/enu/shotou/zyouhou/detail/1404422.htm

▼併せて、下記事業の成果報告会への参加もご検討ください ▼

文部科学省
「統合型校務支援システム導入実証研究事業」
成果報告会
日時 3/6 金 場所 文部科学省第二講堂

文部科学省「エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業」
総務省「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」
日時 3/10 火 場所 文部科学省本館講堂

令和元年度
**全国遠隔教育
フォーラム**
遠隔教育システム導入
実証研究事業成果報告会
最終案内

遠隔授業、始めてみませんか？

文部科学省では、多様性のある学習環境や専門性の高い授業の実現等、児童生徒の学びの質の向上を図るため、遠隔教育システムの導入促進に係る実証事業を実施しています。「社会に開かれた教育課程の実現」「資質・能力の育成」「外国語教育の充実」「プログラミング教育の必修化」等、新学習指導要領の実施に向け、遠隔教育システムの様々な活用方法を提案します。また、SINETを活用した遠隔教育についても紹介します。あなたの学校でも遠隔教育を!ぜひ御参加下さい。

日 時 令和2年 3月 9 日(月) 13:00~16:45

場 所

文部科学省本館講堂

東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

交通案内

東京メトロ銀座線
「虎ノ門駅」11番出口 直結
丸の内線・千代田線・日比谷線
「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分

対 象

教育委員会、教育センターの情報教育担当指導主事、各学校での情報教育を推進するにあたり中核となる先生、遠隔教育に興味のある企業関係者等

どなたでも、ご参加いただけます。

参 加 費

無料

問 い 合 わ れ

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課

TEL:03-6734-3263 MAIL:jogai@mext.go.jp

申 し 込 ん

ホームページからお申し込みください。
<https://www.uchida.co.jp/seminar/200309/index.php>
※本案内状を印刷してご持参ください。入館・再入館の際に必要となります。

多様な活用方法を提案！

- 「ALTとの活動時間を倍増」
- 「大学教授からのプログラミング教育支援」
- 「外国にルーツを持つ児童生徒への日本語指導」
- 「不登校支援」
- ・等々、多様な活用方法を類型化して提案します。

導入のポイントを紹介！

- 「どのような機器を入れたらよいの?」
- 「接続先はどのようにして探す?」
- 「授業設計のポイントは?」

遠隔教育システム導入に係るポイントを紹介します。

導入効果を発表！

- 遠隔授業により、授業は、学校はどう変わったのか。
- 遠隔授業の効果を児童生徒・教師の生の声と共にエビデンスをもって発表します。

遠隔授業ではいつもの授業よりも、授業で習ったことをもっと知りたくなった。

84.7%	远隔授業ではいつもの授業よりも、授業で習ったことをもっと知りたくなった。
-------	--------------------------------------

(実証地域における児童生徒アンケート4回以上遠隔授業を受けた児童生徒の回答)

全国14箇所で 様々な取組が行われました

令和元年度「遠隔教育システム導入実証研究事業」では、遠隔教育の可能性を広げることを目的に、全国14地域を対象として様々な取組を行ってまいりました。本フォーラムでは、それぞれの地域での取組内容を比較・整理して様々な活用方法を提案するとともに、導入のポイントや導入効果について御紹介します。

全国に広がる 遠隔教育の輪



※実証地域における取組の一部を紹介しています。※A1,A2等の分類は、遠隔教育システム活用ガイドブック(第1版)による。
[URL] https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1404422.htm